

全校朝会（夏目漱石）

2017. 9. 25

6年生に、全校遠足で頑張りたいこと、楽しみなことを聞きました。

- ・間をあげずに歩いてほしい、みんなをまとめたいと、答えてくれました。

みなさんは、夏目漱石という人を知っていますか。「吾輩は猫である」や「坊ちゃん」などの小説を書いた人です。10年前までは1000円札に肖像画が使われていました。今の1000円札は野口英世で、夏目漱石の前は伊藤博文、その前が聖徳太子でした。お札になるくらいですから有名な人、立派な人だということが分かります。

夏目漱石は、江戸時代の最後、今から150年前に生まれ、大正時代に49歳で亡くなりました。漱石のお父さんは、みなさんが住んでいる高田馬場から牛込の辺りまでの名主さんで、漱石も早稲田の辺りで生まれました。漱石は英語の成績がとても良くて、大学卒業後は愛媛県や熊本県で英語や英文学の先生をしていました。先生をしながら、お話を書くお仕事をするようになり、先生はやめてしまうのですが、11年間の本を書く生活のうちの9年間を、地下鉄東西線の早稲田駅の近くの家で過ごしたそうです。「こころ」や「三四郎」や「道草」などの作品を書いていた家です。

そこに昨日、「漱石山房記念館」がオープンしました。テレビのニュースでも流れたので、見た人も、もしかしたら行った人もいるかもしれません。私も昨日行ってきました。夏目漱石に関係のある本や手紙や着物などが飾られていました。3500冊も本がある図書室もありましたが、とても混んでいたもので、ゆっくりと見ることができませんでした。カフェもあって、猫の絵のカップでお茶を飲むこともできるそうなので、また今度行こうと思います。夏目漱石については、くわしくは今度10月に、戸三小の卒業生で「漱石山房」でお仕事をされている近藤さんという方が学校にいらしてくださいるので、その時にお聞きしましょう。

漱石山房に行く前には、戸塚地域センターのセンター祭りに行きました。センター祭りでは、児童館でダンスの練習していた人たちの発表がありました。1年生から5年生までの人たちが、素敵なダンスを見せてくれてありがとうございました。神田川親水テラスでエビをとっている人もいました。鯉のぼりが川の中を泳いでいました。たくさんの戸三小の人に会いました。あいさつをしてくれた人もいて、うれしかったです。5年生には「しらたまぜんざいとコールスローがおいしいよ。」と教えてもらいました。6年生の中には、パンフレット配りを手伝っている人もいました。地域猫の話の聞いたり、地震の被害を最小限にするための取組みについて聞いたりもしました。地域の大人も子供も集まっていて、センター祭りはとても楽しいなと思いました。

エレベーターを使わないで何度も上り下りしたので少し疲れましたが、充実した1日を過ごすことができました。今週は、全校遠足もあるので、元気に過ごそうと思います。みなさんも朝や夜、涼しい日が多くなってきているので、風邪など引かないように、着る物に気を付けたり手洗いをしっかりとしたりしましょう。

教職大学院の松島先生が、今週から5週間毎日学校に来ます。あいさつをしてもらいました。